

令和5年度 東久留米市立 本村小学校 学校評価報告書

学校教育目標	◎創る・・・互いに考えを深め合い、創造していく児童の育成 ◎思いやる・・・自他のよさに気付く、互いに認め合う心豊かな児童の育成 ◎活きる・・・健康で、何事にも意欲的に活動する児童の育成	【目指す学校像】	今日が楽しく、明日が待たれる学校～笑顔輝き、歌声響く学校～
		【目指す児童・生徒像】	夢・希望・期待をもって登校し、仲間とのかかわり合いを通して生き生きと過ごし、自分の良さを発揮する子 か：(相手のことをよく)考えて行動する子 き：きまりをしっかりと守る子 く：くじけずに最後までがんばる子 け：健康に気を付けずんで運動する子 こ：根気強く勉強する子
		【目指す教師像】	子供を愛し、指導力・授業力の向上を目指し、互いに切磋琢磨し合う教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	【成果】○校務分掌の改編等により、組織的に学校運営ができるようになってきた。 ○週時程表、各教科の年間指導計画の見直し等により、学年・学級経営の充実が図られてきている。 【課題】○基礎学力及び体力のさらなる定着・向上 ○折り合いを付けながら主体的にかかわり合う力の醸成 ○教員の授業力の向上		

東久留米市第2次教育振興基本計画				中期経営目標 (令和7年度までの3年間)	短期経営目標 (1年間)	評価指標・評価基準		自己評価		学校関係者評価		次年度の方策
No.	三つの柱	基本施策	今年度学校で重点を置く「具体的施策」			取組指標	成果指標	取組	成果	評価	コメント	
1	II 学力向上	生涯にわたって育む健やかな体づくり	体力向上に関する指導の充実	「すすんで外遊びや体力づくりをしている」を85%以上にする。	体力づくりに関する指導を年間を通して計画的に行う。	・縄跳び週間、マラソン旬間を設定し、全校で取り組む。 ・体力アップウィーク(1月)を設定し、全校で持久走に取り組む。 ・外遊びの日(月1回)を設定し、クラス遊びや教師も遊ぶ日とする。 ・すすんで外遊びができるよう学級経営に位置づける。	「すすんで外遊びや体力づくりをしている」が 4:75%以上 3:60%以上 2:50%以上 1:50%未満	3	3	4	・教育目標の「思いやる」について、日頃の教育、各行事などを通して、自他のよさに気付く、互いに認め合う思いやりのある心豊かな児童の育成への取り組みを推し進め、その具現化を図る教育の姿勢、実践がされている。 ・ようやく日常生活、学校生活が元に戻りつつある中、教職員の皆様が様々な困難を抱えつつも、工夫や努力をされていることを感じる。 ・基本的な学力の定着に関しては、授業の工夫や個別の声掛けなどが見られ、児童の学ぶ意欲を引き出すとされているが、「定着」についてはまだ課題があると思われる。わかった⇒できる⇒おもしろい⇒もっと知りたい・これはどうして?など、プラスのサイクルにもっていくための良い方法は無いのかと、周囲の大人としても考えている。 ・行事の復活、特別活動が増え、体験的活動があり、良い効果が出ているのでは思う。	・縄跳び週間、マラソン旬間の取り組みを定着させるとともに、期間・取り組み方法の改善を図る。 ・体力アップウィーク(1月)の取り組みを定着させるとともに、各学年、体育科の授業の一部に取り入れていく。 ・外遊びの日(月1回)を定着させ、「クラス遊び」にかかわるOJTを実施する。 ・すすんで外遊びができるよう全校に指導(生活指導部)するとともに、新年度当初に確実に学級経営に位置づける。
2	II 学力向上	確かな学力の育成	基礎的・基本的な学力の定着と学ぶ意欲の向上	「自分からすすんで学習できる」を80%以上にする。	・国語・算数タイム<金>、5分タイム<国・算>を計画的に行い、基礎・基本の徹底を図る。	・個に応じた指導の充実。 ・読書活動の充実。(朝読書タイム<火・木>、読書旬間<6月・12月>、読み聞かせ) ・基礎的・基本的な学習内容の充実。(国語・算数タイム、15分タイム)	「自分からすすんで学習できる」が 4:70%以上 3:60%以上 2:50%以上 1:50%未満	4	3	3	・個に応じた指導の充実のために、算数習熟度指導の充実を図るとともに、放課後の「ほんむらっ子塾」を定着させる。 ・朝読書タイム<火・木>、読書旬間<6月・12月>、読み聞かせ等の内容を精査し、学年の発達段階に応じた読書指導を行う。 ・基礎的・基本的な学習内容の充実のため、国語・算数タイム及び「5分タイム」の確実な実施を継続する。(週案簿に記載)	
3	II 学力向上	確かな学力の育成	教員の授業改善、指導力の向上の推進	「授業が分かりやすい」を85%以上にする。	校内研究を充実させる。自己申告の授業観察時等も活用し、互いの授業を参観し合い、切磋琢磨する。	・自己申告の授業観察を中心に授業改善を意識させ力量を高めさせる。 ・一人、年1回以上の研究授業を行う。(全国、都、市、校内の研究会で)	「授業が分かりやすい」が 4:80%以上 3:70%以上 2:60%以上 1:60%未満	3	4	3	・自己申告の授業観察を中心に授業改善を意識させ力量を高めさせる。 ・授業力向上のためのOJT(『授業力アップOJT』)を計画・推進する。 ・一人、年1回以上の研究授業を行う。(全国、都、市、校内の研究会で)	
4	II 学力向上	体験的な活動	地域や外部人材を生かした体験活動の充実	「GTやATと一緒に学習をした楽しかった」を85%以上にする。	企業の出前授業、地域や保護者等の外部人材を活用した創意工夫のあるダイナミックな授業づくりをすすめる。	・各学年、年1回以上、GTやATを活用した授業を行う。	「GT、ATと一緒に学習をした楽しかった」が 4:75%以上 3:60%以上 2:50%以上 1:50%未満	4	4	4	・学芸会では一人一人のすばらしい姿を見せていただいた。先生方の力だと思ふ。児童もそれに応えていた。この経験は、必ずいい結果を招くと思ふ。 ・学習も行動力も日頃の蓄積の成果だと思ふ。いきなり「60分の家庭学習」は難しいが、「10分」を積み重ねていくとできるようになる。再度、児童にお声がけしたいようである、ありがたい。 ・経験したことは記憶に残る。いい経験をしてほしい。オリンピック(運動会)も同じこと。地域性もあり、先生方も大変かと思うが、よろしくお願ひします。	・引き続き、各学年、年1回以上、GTやATを活用した授業を行う。
5	II 学力向上	体験的な活動	地域や保護者と連携した防災教育	「真剣に避難訓練ができた」を90%以上にする。	年間計画に基づき確実に避難訓練を実施し、「自分の命は自分で守る」を徹底する。	・年間計画に基づき、避難訓練を行う。事前事後の指導を充実させる。 ・自治会・町会、青少協、高等学校等と連携した防災体制づくりを進めていく。	「いつも真剣に避難訓練ができた」が 4:80%以上 3:70%以上 2:60%以上 1:60%未満	3	4	3	・年間計画に基づき、避難訓練を行う。各教室での事前及び校庭での事後指導を充実させる。 ・自治会・町会、青少協、高等学校等と連携した防災体制づくりを進めていく。	
6	I 健全育成	個性を認め合う教育の推進	人権教育の推進	「友達に思いやりの心をもって生活した」を85%以上にする。	全教育活動を通して人権教育を行う。特に道徳科、学級活動を両輪として確固たる人権感覚を身に付けさせる。	・「本村小モデル<心の15分クリーニング>」を定着させる。 ・各学級、道徳科の授業公開を年3回以上行う。	「友達に思いやりの心をもって生活した」が 4:80%以上 3:70%以上 2:60%以上 1:60%未満	4	4	4	・学力・学習状況調査(6年生)の結果においては、都内(公立)小学校の平均正答率より低い結果であった。教科ごとの学習指導の改善・充実に向け、各家庭への情報提供・共有を図り、学校と家庭とがそれぞれの役割を果たすことにより、児童の学力向上が求められる。引き続き、算数少人数授業の実施など、児童の理解度に応じた学力の育成に資する指導を行うとともに、児童同士で学び合う機会を設けながら、学習意欲の向上につなげていく取組の継続により、学力向上の成果につながることを期待したい。 ・「学校に行くのが楽しい」と感じている児童が全国平均より高いこと、高い自己肯定感により、何ごとにも挑戦する姿勢、達成感を多く味わうことを醸成する教育、他人への思いやりなど豊かな心を育む教育を進めていること及びその実践については、大いに評価できる。	・「本村小モデル<心の15分クリーニング>」を確実に定着させる。 ・各学級、道徳科の授業公開を年3回以上行う。 ・年1回以上、自己申告の授業観察時に道徳科の授業を行う。
7	I 健全育成	規範意識や他人への思いやりなど豊かな心を育む教育の推進	自己肯定感・自己有用感の醸成	「みんなで話し合ったり、活動したりすることが楽しい」を85%以上にする。	規範意識や他人への思いやりなど豊かな心を育む校内研究を推進していく。(特別活動)	・校内研究で年3回の研究授業を行い講師の指導を受ける。 ・学年・学級経営の充実を図る。(OJT研修) ・児童会活動及びクラブ活動を活性化させる。	「みんなで話し合ったり活動したりすることが楽しい」が 4:80%以上 3:70%以上 2:60%以上 1:60%未満	4	4	4	・校内研究で年3回の研究授業を行い講師の指導を受ける。 ・年1回以上、自己申告の授業観察時に学級活動の授業を行う。 ・学年・学級経営の充実を図る。(OJT研修) ・児童会活動、クラブ活動についてOJT研修を行い、充実を図る。 ・「本村小特活の日」の設定について検討する。	
8	I 健全育成	特別支援教育の充実	教育相談体制の充実	「先生たちはよく話を聞いてくれる」を85%以上にする。	SC、特別支援教室巡回指導教員、専門員等との連携を深めるとともに、校内委員会の充実を図る。	・月1回以上の校内委員会 ・SC、特別支援教室巡回指導員、専門員と校長との各連絡会を随時もち、情報交換を行う。(2週間に1度程度)	「先生たちはよく話を聞いてくれる」が 4:75%以上 3:60%以上 2:50%以上 1:50%未満	3	4	3	・月1回以上、校内委員会を確実に進行。 ・SC、特別支援教室巡回指導員、専門員と校長との各連絡会を随時もち、情報交換を行う。(2週間に1度程度)	
9	I 健全育成	規範意識や他人への思いやりなど豊かな心を育む教育の推進	規範意識と豊かな人間関係を育む教育	「学校は楽しい」を85%以上にする。	生活指導の徹底と学年・学級経営の充実を図る。	・返事・あいさつ・靴揃えを徹底する。 ・「温かく・厳しい」支持的風土の学年・学級をつくる。	「学校が楽しい」が 4:80%以上 3:70%以上 2:60%以上 1:60%未満	3	4	4	・返事・あいさつ・靴揃えを徹底する。一生活指導の重視 ・「温かく・厳しい」支持的風土の学年・学級をつくる。(OJTの実施)	
10	I 健全育成	4×4の取組	4×4の取組	「レガシーに関する学習が楽しい」を80%以上にする。	発達段階に応じて、オリンピック・パラリンピック教育の精神を生かした学校2020レガシーの教育を計画的に行う。	・「4つのアクション」のうち学ぶ(知る)、する(体験・交流)に重点を置き、授業を展開する。	「レガシーに関する学習が楽しい」が 4:80%以上 3:70%以上 2:60%以上 1:60%未満	3	3	3	・「4つのアクション」のうち学ぶ(知る)、する(体験・交流)に重点を置き、授業を展開する。	